

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 平成 20年 3月 7日

【評価実施概要】

事業所番号	175100288
法人名	有限会社 なごみ
事業所名	ライフィン なごみ
所在地	紋別市落石町3丁目42番地の5 (電話) 0158-26-2753
評価機関名	(有)NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成20年2月26日

【情報提供票より】(20年1月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 13 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 4 人, 非常勤 14 人, 常勤換算 6.6 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	4階建ての	3階～	4階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	21,000～27,400 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(1月21日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	3名	要介護2	5名		
要介護3	8名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 84.1歳	最低	73歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	白松メディカルクリニック
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ライフィンなごみは、紋別市の旧道都大学を見上げるバイパス沿いに位置しており、1階がグループホームの事務室兼多目的ホール、2階は未使用、3・4階に1ユニットずつの4階建てになっており、建物は大学生用のアパートを改修してグループホームとして使用しています。利用者は、散歩や外出時には近所の方と挨拶を交わしたり声掛けもされたり、野菜の差入れや除雪のお手伝いしてもらいがあり、近隣住民とは日常的にお付き合いをしています。利用者の外出支援として商店へ買い物に出かけたり、上湧別のチューリップ公園や遠軽町コスモス畑へドライブに家族と一緒に出かけなどの支援がされています。またボランティアとして合唱団に来てもらいコンサートを開催しています。居室は6.5帖～7帖に収納付で、トイレがどの居室からも近くにあって夜間も安心できます。利用者と家族と職員は、仲間であり笑いや悩みや感動出来て温もりがあることを理念としているホームとなっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	立ち上げて間も無い事もあり外部評価で指摘を受けた事項については、改善に向け取り組みがなされています。理念の掲示と啓発では、直ぐに取組み改善、職員研修も講師を招き内部研修をしたり市外へも参加しています。利用者に対する支援では、配慮に掛ける場面もあつたり、ホームの都合を優先する事もあり継続課題として取組んでいます。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が自己評価を実施する意義について理解しており、職員一人ひとりが全項目について記入しユニットリーダーと管理者が取りまとめています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	昨年9月まで5回会議が開かれています。市高齢者福祉課長、地域代表、利用者、他グループホーム管理者、なごみ運営会社社長・管理者等で構成されています。ホーム側より状況報告、行事の取組みと予定、検討課題等について説明及び意見交換がされています。市内グループホーム管理者からの意見は貴重であり紋別市の底上げに繋がります。約2ヶ月ごとの開催に至っておりませんが、今年は開催に向け取組んでいます。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月なごみ通信を発行して利用者の状況を載せ郵送したり、家族の面会時に、意見要望を言える関係であり職員やリーダーが利用者の日々の様子や状態について報告をしています。遠方の家族には、電話でその都度報告し、意見や要望苦情を言える関係を築いています。多目的ホールに意見箱の設置と苦情申立ての掲示がされています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームの周りが大学生向けのアパートと住宅地が混在しており、町内会に加入していますが回覧板が回ってきておらず行事等に参加できていません、しかし自治会役員は、ホーム前が夜間暗い為外灯設置の要望を挙げてもらう等連携は取れています。また中学校の体験学習を受け入れてたりしています。

(有)NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「生活の主権者として地域や自然と共に生きて、人間として同等に生き続ける。」事を基本理念の中に取り入れ支援にあたっています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は利用者を支援していく上で、理念を大切にし再確認や振り返りを行い実践につなげていくことを心掛けています。	○	連絡ノートの活用の工夫や会議の充実を図り、個々の認識のみならず職員間で理念の共有や実践に取り組む事を望みます。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しています。合唱団を招いてコンサートを開催した他、中学生の研修の受け入れも行い地域と関わりを持つ工夫としています。	○	町内会や地域と共存する為に行事等に積極的に参加する他、グループホームの存在を知ってもらい働きかけも行き、日常的に交流できる関係を築く事を望みます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者は評価の意義を職員に伝えています。評価は、個々で評価したものを管理者がまとめています。外部評価で指摘を受けた内容について話し合いが持たれ、できる部分から改善に向け取り組みがなされています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度を目安に運営推進会議を開催することとしています。昨年9月までに5回の会議が持たれています。	○	積極的に日程調整等を行い、定期的に会議を開催していく必要があると考えられます。会議では更り多い話し合いがなされ、サービスの質の向上に活かされる事を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	サービスの質の向上を図るため、制度上の問題や運営に関する事柄を中心に市町村との連携を図り、必要に応じ指示を仰ぐなどしています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、通信を家族に送り、ホームでの利用者の様子等を知ってもらう手掛かりとしている他、面会時を大切な機会と捉え、利用者の暮らしぶりを伝えたり家族の思いを聞き取る工夫としています。外部評価についても郵送により結果報告がされています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は家族の面会時等を大切に捉え家族の思いや不安を聞き取るよう努めています。苦情等があった場合は情報の共有を図る他運営推進会議の場に於いて内容や対応について報告がされています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職等がある場合、職員は利用者や家族の不安を最小限に抑える努力をし、サービスの質の維持を心掛けています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年一月からは内部研修の充実と情報の共有を図る為、同じテーマに添って三度話し合う機会を持つ工夫をしています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム間での交流が活発に行なわれて、情報交換等がされる他、近隣市町村ともネットワーク作りができていて、学習会を開きサービス向上につながっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員との馴染みの関係ができるよう、入居前に家庭訪問をするなど交流の機会を設けている他、利用者が納得し安心してできるよう、できる限りホーム見学をするよう家族に協力を求めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者の思いに添って感情を受けとめながら生活することを大切にしています。また、共に支え合う関係を築く努力もしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々のペースや希望に添った支援を心掛けています。希望や意向の把握が困難な場合は日頃の利用者の好みや判断などを参考にし支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員の担当制を取っていて気がついた点等、職員間で伝え合い、検討しプランに反映できる仕組みを取っています。家族や利用者の希望を取り入れる努力もしています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状況が変わったと判断した場合は、期間に捉われず話し合いを持ち介護計画の見直しを行なっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	市内の受診時の対応の他、利用者の希望により理美容室の送迎や買い物の支援などを行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者それぞれのかかりつけ医と連携を取り受診、その他の支援をしています。遠方でかかりつけ医の変更を希望する利用者には相談にのり支援にあたっています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとしてどこまで対応できるかを検討している段階で、希望する家族があり共に利用者を支えていく方向で話し合いを進めています。	○	職員間の情報の共有はもちろんの事、病院などの関係機関と連携を図り、具体的な対応手順等について話し合いの機会を持つ事を望みます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者に対して、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応をする事の無いよう心掛け支援しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は業務を優先することなく、利用者一人ひとりの希望や思いに添った支援ができるよう心掛けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	外注によりメニューは決まっていますが、月に2回程度を目安に利用者の希望を取り入れた献立の日を設けることとし利用者の意向に添って支援できるよう心掛けています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在入浴時間帯は決まっていますが、月に1度程度から夜間帯の入浴も考えており、希望する利用者の意向に添って支援する工夫としています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や性格、その日の体調などを見きわめながら、食事の準備や後片付け、洗濯物の片付けなどできることを職員と一緒に取り組んでもらい支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームに閉じこもりがちな生活になりやすい利用者が、少しでも戸外に出やすいように外にベンチを置き外気浴を楽しんでもらったりドライブや買い物など、利用者の楽しみにつながる支援を心掛けています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者、職員は鍵を掛ける事の弊害について理解しており、夜間帯のみ安全のために玄関に施錠しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員間の緊急連絡体制は整備されていますが、現在避難訓練は行なわれていません。	○	関係機関や地域の理解と協力を得て、実践を想定した避難訓練の早期実現を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者ごとの食事摂取量や水分量について記録がとられています。水分量が不足している利用者について職員間で伝達がされ、声掛けして必要量を取ってもらうよう支援しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内は清潔に保たれ利用者の希望に合わせ、明かりや音量の調整を測っています。また、季節感が出るような飾り付けを心掛けています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や仏壇、人形や家具など、利用者の馴染みの物、使い馴れた物を持ってきてもらい、居心地よく過ごせる工夫としています。		